

STAR

ディスクビータアタッチメント

取扱説明書・部品表

製品コード K30397
型 式 ADW1800
部品供給型式 ADW1800-01

規制板アタッチメント (ディスクビータ用)

製品コード K30488
型 式 ARW1810

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社

START

⚠ 安全に作業するために

安全に関する警告について

本機には、⚠印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて

⚠ 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

⚠ 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

⚠ 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。

⚠ 危険



運転中又は回転中、ピータに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。
周囲に人を近づけないで下さい。
ピータを回転させての、荷台内の清掃は危険です。やめて下さい。

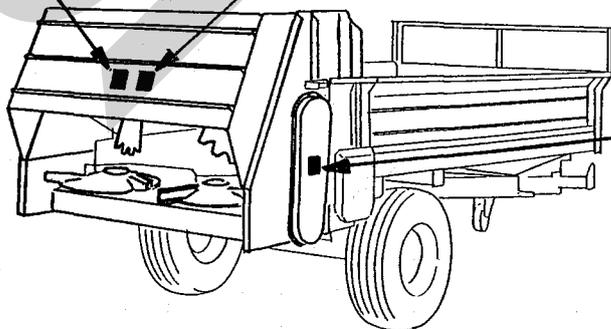
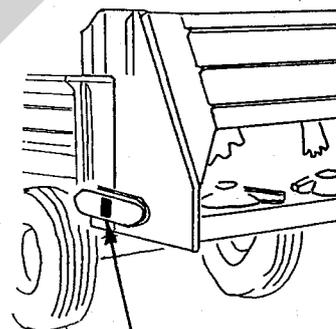
部品番号 106244

⚠ 危険



運転中又は回転中、ピータにより石などが飛散し、ケガをする事があります。
周囲に人を近づけないで下さい。

部品番号 106246



⚠ 注意



運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。
カバーを開けないで下さい。

部品番号 106171

— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業員などへ危険を知らせる大事なものです。ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全操作上の注意

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、作業機およびトラクタの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してから行ってください。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

▲注意

- 機械の取り扱いで分からない事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こし、ケガをする事があります。取扱説明書は、分からない事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。次の場合は、運転しないでください。
 - 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
 - 酒を飲んだ時。
 - 機械操作が未熟な人。
 - 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。次に示す服装で作業してください。
 - 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
 - ズボンや上着は、だぶつきのないもの

を着用する。

- 帽子は、必ず着用する。
- はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は

▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からないため、思わぬ事故を起こす事があります。取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

▲注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。機械の改造はしないでください。アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検をする時は

▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

作業機を着脱する時は

▲警告

- アタッチメントを装着する時、トラクタのエンジンを止めずに行うと、第三者の不注意により、不意にトラクタが動いたりして、事故を起こす事があります。エンジンをとめて、マニュアルボディの車輪に輪止めをして行ってください。

荷物を積載する時は

▲注意

- 過積載あるいは片荷積載をすると、旋回時や傾斜地での作業時、作業機が転倒し、ケガをする事があります。指定された積載量あるいは積載高さ以上の積載はしないでください。ほぼ平坦になるように積載してください。

作業中は

作業する時は

▲危険

- 運転中又は回転中、ビータに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。
- 運転中又は回転中、ビータにより石などが飛散し、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。

▲警告

- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。
- 作業機指定のPTO回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。指定回転速度を守ってください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、思わぬ事故を招く事があります。作業機の上には、人を乗せないでください。

▲注意

- 運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。カバーを開けないでください。
- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。

作業が終わったら

機体を清掃する時は

▲危険

- 運転中又は回転中、ビータに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。ビータを回転させての、荷台内の清掃は危険です。やめてください。

▲注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

終業点検をするときは

▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲注意

- 機械に異常が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。取扱説明書に基づき行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。元通りに取り付けてください。

も く じ



安全に作業するために

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	3
作業前に	2	不調処置・点検・整備をする時	3
作業中は	3		

1

マニュアルボディへの装着

1 各部の名称とはたらき	6	3 ディスクビータアタッチメントの組立・装着	
2 適応トラクタの範囲	7		7
		4 規制板アタッチメントの組立・装着	
			8

2

運転を始める前の点検

1 運転前の点検	9	2 エンジン始動での点検	9
1. ディスクビータアタッチメントの点検	9	1. 駆動システムの点検	9
2. マニュアルボディの点検	9	2. マニュアルボディの点検	9
		3 給油箇所一覧表	10

3

作業の仕方

1 本機の使用目的	11	2. 堆肥・鶏糞の積み込み方	12
2 床コンベヤ変速段と散布量	11	3. 散布作業の仕方	12
3 作業要領	11	4. 散布巾の調節	12
1. PTO回転速度	11	5. 規制板アタッチメント	12

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ …… 13

2 長期格納する時 …… 13

5 点検と整備について

1 点検整備一覧表 …… 14

2 各部の調整 …… 14

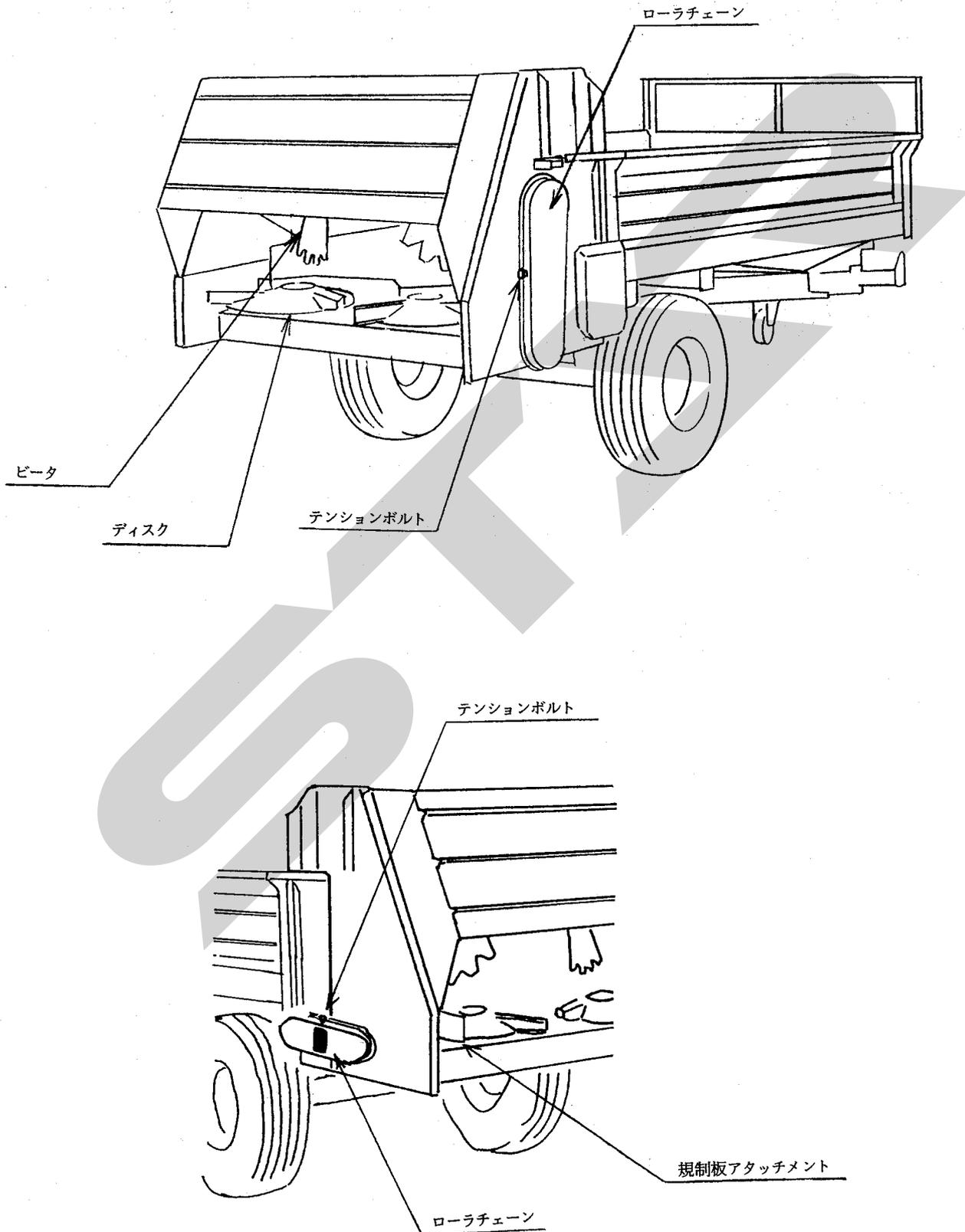
6 不調時の対応

1 不調処置一覧表 …… 15

7 部品表 …… 16

1 マニユアボディへの装着

1 各部の名称とはたらき



1. テンションボルト

このボルトを回わして、チェーンのテンション調整をします。

2. ディスク

堆肥をくだけながら散布します。

3. ビータ

積載された堆肥をならし、メインビータに定量供給します。

4. ローラチェーン

作業機本体からアタッチメントへの動力を伝達します。

5. 規制板アタッチメント (オプション)

堆肥がハウスのポールや果樹園の枝に飛散するのを防ぎます。

2 適応トラクタの範囲

本製品は適切なトラクタとの装着により的確に性能を発揮できるように設計されています。

不適切なトラクタとの装着によっては、本製品の耐久性に著しく影響を及ぼしたり、トラクタの運転操作に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

この製品は適応トラクタ馬力と最大積載量は次のとおりです。

型 式	適応トラクタ馬力	最大積載量
TMB1030+A DW1800	15~35 PS	1,000kg
TMB1040 +A DW1800 TMB1050	20~40 PS	1,000kg
TMB1530+A DW1800	20~40 PS	1,500kg
TMB1540 +A DW1800 TMB1550	25~50 PS	1,500kg
TMB1830+A DW1800	25~50 PS	1,800kg
TMB1840+A DW1800	30~50 PS	1,800kg

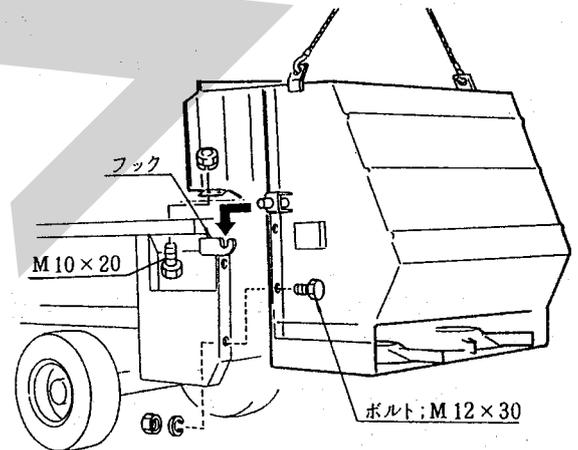
3 ディスクビータアタッチメントの組立・装着

▲ 警告

- アタッチメントを装着する時、トラクタのエンジンをとめずに行くと、第三者の不注意により、不意にトラクタが動いたりして、事故を起こす事があります。エンジンをとめて、作業機の車輪に輪止めをして行ってください。

木枠に固定している部品をほどこき、同梱の梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

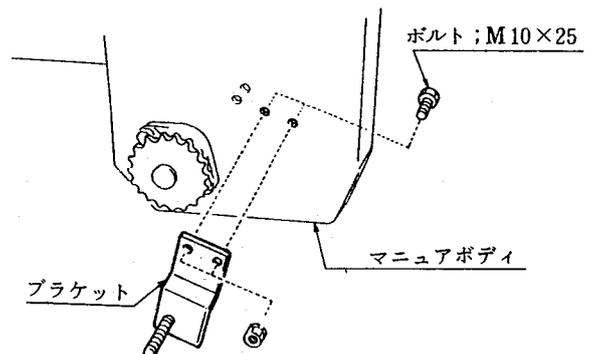
1. ビータ・フレームをフロントローダ等で吊り上げ、マニュアルボディのフックに乗せ、ビータ・フレームをボルトでマニュアルボディに固定してください。



2. ブラケットをマニュアルボディとフレームに、取り付けてください。

ブラケットはディスクビータアタッチメントに付属している部品を使用してください。

マニュアルボディに付属しているブラケットは他のアタッチメントに使用しますので大切に保管してください。

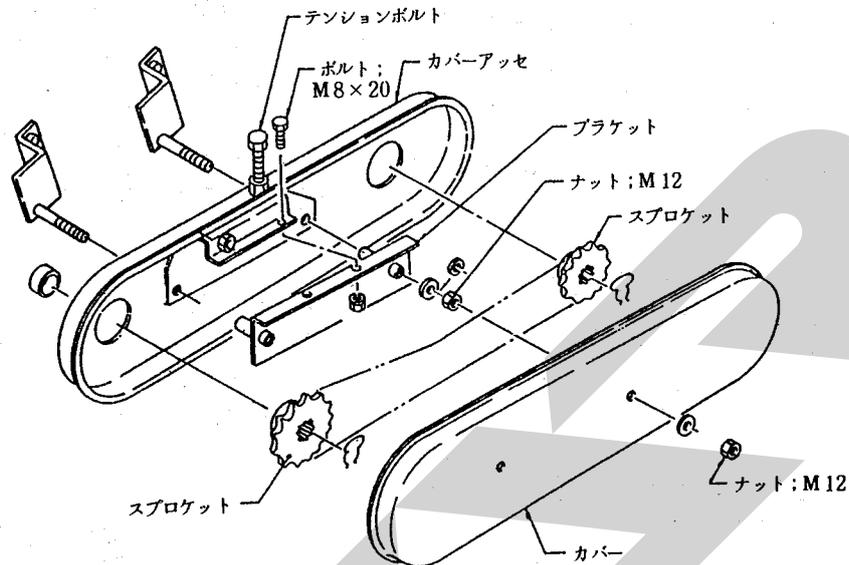


3. カバーアッセをボルトに通し、スプロケットにチェーンを掛けたまま、ボスの向きに注意して組み込んでください。

4. ブラケットを固定して、ローラチェーンの張り側でのたわみが5~10mmになるよう、テンショ

ンボルトで調節してください。(ローラチェーンには、初期伸びがあります。2~3台使用后、「5-2-1 ローラチェーンのテンション」の説明に基づき再度張りを調節してください。)

5. カバーを組んで終了です。



4 規制板アタッチメントの組立・装着

同梱の梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

部品表に基づいて組立してください。

2 運転を始める前の点検

1 運転前の点検

1. ディスクブレーキアタッチメントの点検

- (1) アタッチメント駆動用ローラチェーンの張りは適正か。

不具合が見つかった時は「5-2 各部の調整」の説明に基づき張りを調整してください。

- (2) 損傷部品はないか。

不具合が見つかったら部品の補修または交換をしてください。

- (3) 各部の給油は十分か。

不具合が見つかった時は「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油してください。

2. マニュアルボディの点検

マニュアルボディに付属している取扱説明書の「運転前の点検」の説明に基づきマニュアルボディを点検してください。

2 エンジン始動での点検

▲ 警告

- PTOを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをする事があります。
PTOを切ってから始動してください。

1. 駆動系統の点検

トラクタのエンジンをかけ、PTOを接続し、低速で回転させた時、駆動部及び回転部に異音あるいは異常振動はないか。

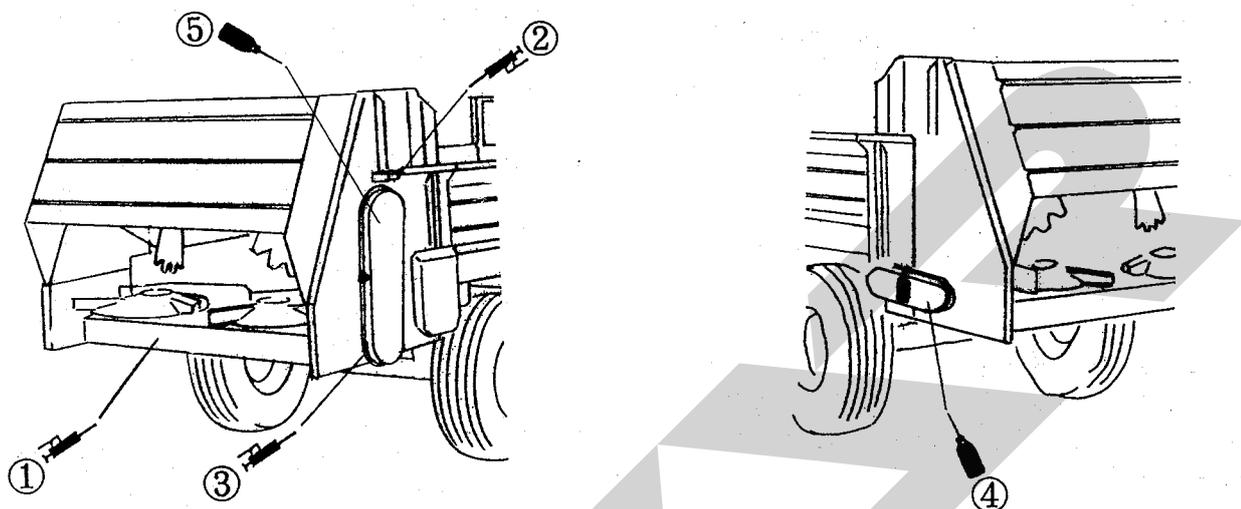
不具合が見つかった時は、「6-1 不調処置一覧表」に基づき不具合を解消してください。

2. マニュアルボディの点検

マニュアルボディに付属している取扱説明書の「エンジン始動での点検」の説明に基づきマニュアルボディを点検してください。

3 給油箇所一覧表

- 給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。
- グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され新しいグリースが出るまでです。



No.	給油箇所	個数	潤滑油の種類	交換時期	量	備考
1	ギヤケース	2	グリース	使用毎	適量	歯面に塗布
2	ビータ軸軸受	2	〃	〃	〃	グリースニップル
3	駆動軸々受	2	〃	〃	〃	〃
4	ローラチェーン (マニユアボディ～ギヤケース)	1	オイル	〃	〃	塗布
5	ローラチェーン (ギヤケース～ビータ)	1	〃	〃	〃	〃

3 作業の仕方

安全を確認して、慎重に作業してください。

1 本機の使用目的

本アタッチメントは堆肥や鶏糞の散布作業に使用します。

他の用途には使用しないでください。

取扱上の注意

堆肥や鶏糞以外のものを散布するとマニュアルボディおよびアタッチメントが破損する事があります。本機の使用目的以外での使用は、やめてください。

また、堆肥や鶏糞の中に石・木片・氷塊などが混入していると、機体の破損原因となる事があります。混入しないように日常から管理してください。散布時に、混入が見つかったら、取り除いてから作業してください。

2 床コンベヤ変速段と散布量

床コンベヤ変速段と散布量の関係は、下記の通りです。堆肥の性状と希望散布量から、床コンベヤ変速段とトラクタの車速を決め、作業してください。

コンベヤ速度	未完熟堆肥 (400kg/m ³)	完熟堆肥 (950kg/m ³)
5 速	0.7 t / 10 a	1.7 t / 10 a
4 速	0.6	1.4
3 速	0.4	1.0
2 速	0.3	0.7
1 速	0.1	0.3

(PTO回転速度; 540rpm、トラクタ車速; 5 km/h 時)

3 作業要領

▲ 危険

- 運転中又は回転中、ピータに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。
- 運転中又は回転中、ピータにより石などが飛散し、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。

▲ 警告

- 作業機指定のPTO回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。指定回転速度を守ってください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。低速で作業してください。下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおいてください。

▲ 注意

- 運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。カバーを開けないでください。

1. PTO回転速度

本機の適正回転速度は、540rpm です。

取扱上の注意

エンジンが高速回転の状態ですべてPTOクラッチを入れると、取り付けしているシャーボルトが切断される場合があります。

PTOクラッチを入れる時は、エンジン回転を低速に入れてください。

2. 堆肥・鶏糞の積み込み方

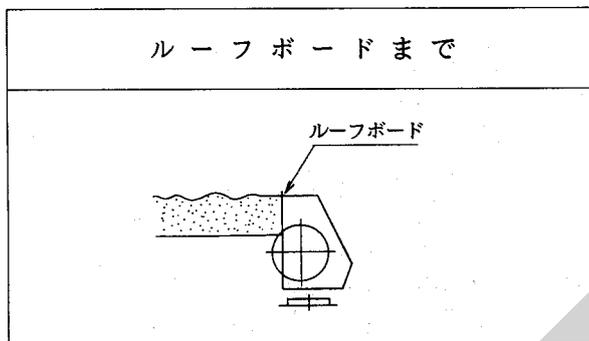
- (1) 荷台の前方から後方に向かって、積み込みしてください。

取扱上の注意

前方から後方に向かって積み込みをすることにより、散布時に堆肥や鶏糞がほぐれやすく、機体に無理がかかりません。

積み込みの順序を、後ろに積んだり、前に積んだりなどのようにバラバラに行うと、無理な力がかかったり、散布ムラの原因になる事があります。

- (2) 積み込み高さは、下記を目安として、できる限り均一にしてください。



取扱上の注意

積み込み過ぎや不均一な積み込みで散布すると、ビータ部で詰まりが起きたり、散布ムラの原因になる事があります。また機体の破損原因になる事があります。

適正な積み込み高さにして、さらに均一に積み込んで作業することにより、トラブルのない順調な作業ができます。

下表の最大積載量を守ってください。

型 式	最大積載量
TMB1050	1,000 kg
TMB1040 + ADW1800	
TMB1050	
TMB1530	1,500 kg
TMB1540 + ADW1800	
TMB1550	
TMB1830	1,800 kg
TMB1840 + ADW1800	

3. 散布作業の仕方

- (1) 床コンベヤ変速を希望する散布量から選択して、セットしてください。
- (2) 希望する散布量から、トラクタ車速に見合っ

た変速位置にセットしてください。

- (3) 走行クラッチを切った状態で、エンジンを低速で回転させ、PTOクラッチを入れてください。
- (4) PTO回転速度を本機の適正回転速度 (540 rpm) にセットします。
- (5) ビータから堆肥が散布され始めたら、走行クラッチを接続し、散布作業をはじめてください。

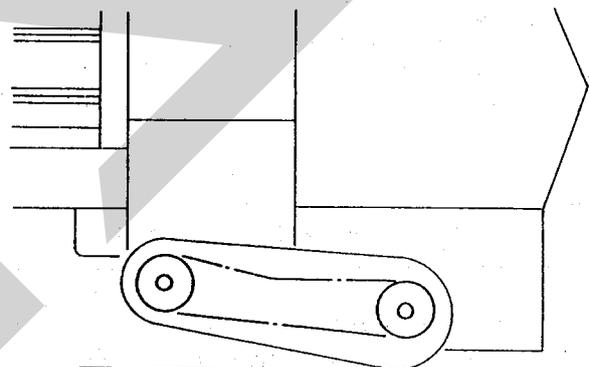
4. 散布巾の調節

スプロケット15T、17Tを組み替えることにより散布巾を2段階に調節できます。

※工場からはAの状態でセットされています。

組合せ	散布巾の目安
A	8 ~ 12 m
B	6 ~ 8 m

(散布巾は堆肥の種類、状態によって異なります)



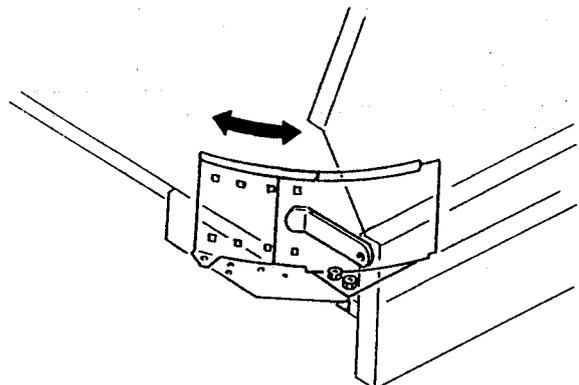
A	17T	15T
B	15T	17T

5. 規制板アタッチメント

堆肥の散布巾を規制し、堆肥がハウスのポールや果樹園の枝に飛散するのを防ぎます。

規制板は4段階に調節できます。

散布巾は堆肥の種類・状態によって異なりますので、適当な散布巾になる位置にセットして使用してください。



4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。
マニュアルボディに付属している、取扱説明書の「作業が終わったら」の説明に基づき手入れを行なってください。

▲ 危険

- 運転中又は回転中、ピータに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。
ピータを回転させての、荷台内の清掃は危険です。やめてください。

▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部がとまっている事を確かめて行ってください。

1 作業後の手入れ

1. 機械に付着していたり残っている堆肥等は、ほ場の中できれいに取り除いてください。特に、回転部に巻き付いたワラやトワインなどは、シール部品、軸受部品などを傷つけますので、完全に取り除いてください。
2. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。又、破損部品がないか確認してください。
異常があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください。
3. 各部の給油箇所は、「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油してください。

2 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき、油脂を補給してください。
また、回転、回動支点および摺動部には注油してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に従って、各部の点検・整備を行い、機械を最良の状態に、安心して作業が行えるようにしてください。

▲ 注意

- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 点検整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。元通りに取り付けてください。

マニュアルボディに付属している取扱説明書の「点検と整備」の説明に基づきマニュアルボディを点検整備してください。

2 各部の調整

1. ローラチェーンのテンション

- (1) ローラチェーンが入っているカバーを開けてください。
- (2) テンションボルトのロックナットをゆるめてください。
- (3) ローラチェーンの張り側でのたわみが5～10mmになるようテンションボルトを回し、チェーンを張ってください。
- (4) ロックナットを締めてください。
- (5) カバーを元通り、取り付けてください。

1 点検整備一覧表

時 間	項 目	処 置	備 考
使 用 毎	機械の清掃 ビータブレードの摩耗 各部の損傷、部品脱落 ローラチェーンのテンション 各部のボルト・ナットのゆるみ 各部の給油	早めの部品交換 部品交換、取付 「5-2 各部の調整」に基づき調整 増し締め 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油	
シーズン終了後	機械の清掃 各部の損傷、部品脱落 ローラチェーンの伸び 各部のボルト・ナットのゆるみ 各部の給油 塗装損傷部	部品交換、取付 早めの部品交換 全ボルト・ナットの増し締め 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油 塗装または油塗布	

6 不調時の対応

エンジンを止めてから処置してください。
 トラブルが発生したら「6-1 不調処置一覧表」に基づき処置してください。
 マニュアルボディにトラブルが生じたら付属している取扱説明書の「不調時の対応」の説明に基づき処置してください。

▲ 注意

- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。元通りに取り付けてください。

1 不調処置一覧表

時 間	項 目	処 置	備 考
ビータが 回転しない	ローラーチェーンが外れている	ローラーチェーンをかけ直す	
	ローラーチェーンがゆるい	「5-2各部の調整」に基づき張り直す	

原因や処置の仕方がわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製品名
2. 部品供給型式(型式)
3. 製造番号
4. 故障内容(できるだけ詳しく)

7 部 品 表

部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ① 製品名
- ② 部品供給型式 (型式)
- ③ 部品名称 (部品表を参照してください。)
- ④ 部品番号 (")
- ⑤ 個 数 (")

2. 部品名称欄に「付」と表示している部品には、該当見出番号の部品が付属されております。

(例)

見出番号	部品番号	部分名称	個数
1	92602	シャフト  2付	2
2	ONAS6	グリースニップル; A-M6×1F	6

このシャフトには、見出番号2のグリースニップルが取り付けられている事を示します。

3. 使用型式により部品番号や個数が異なる場合は、部品名称欄に注記していますのでご注意ください。

4. ボルト・コネジ・ナット類の部品番号末尾に記載されている英文字は以下のことを表しております。

(例) BZ0815A (G)

(メッキ仕上げ)
A ; ナット・スプリングワッシャ付
D ; ナット2個付
N ; ナット付
P ; ワッシャ付
W ; スプリングワッシャ付

5. 個数欄の・は、以下のことを表しております。

…シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品。

…アッセイ品に含まれる部品で、単品では供給しない部品。

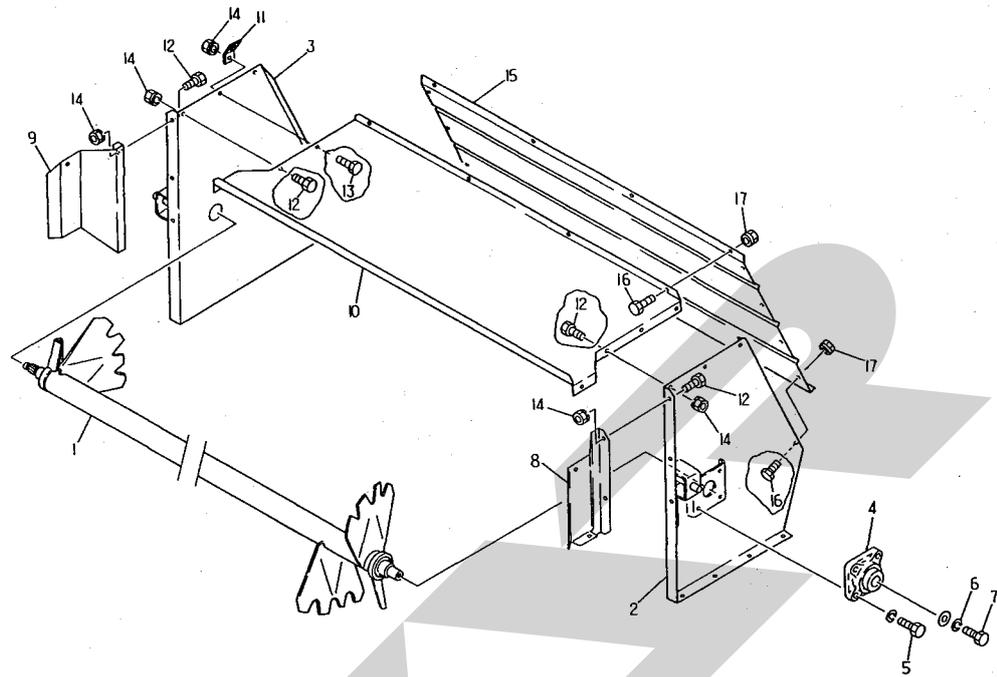
補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。

ADW1800

ビータ

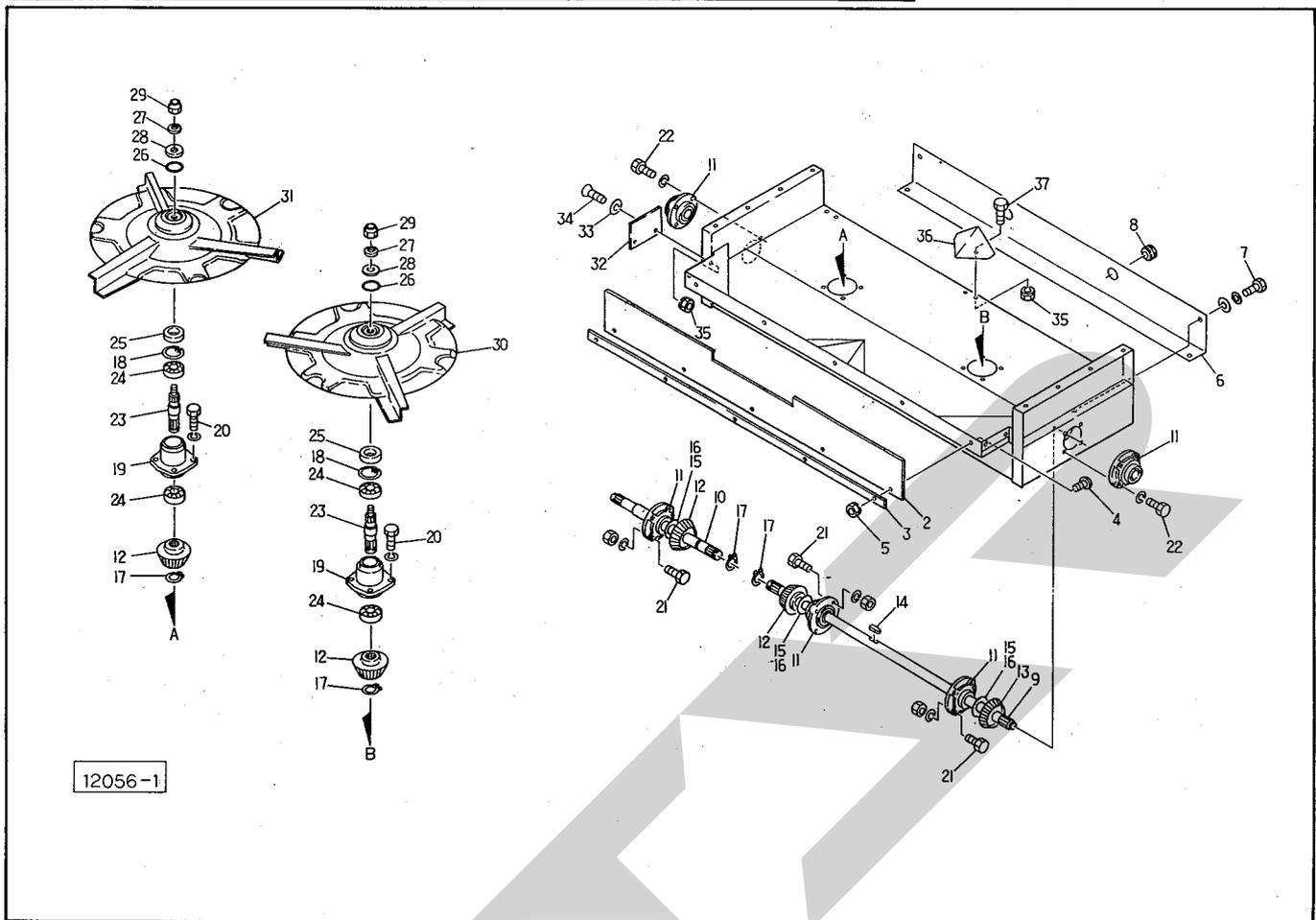


12055

見番	出番	部品番号	部品名称	個数	見番	出番	部品番号	部品名称	個数
	1	92828	ビータ	1					
	2	93009	サイドプレート; L	1					
	3	93010	サイドプレート; R	1					
	4	JUCF207D1	ベアリングユニット; UCF207D1	2					
	5	BZ1240WG	ボルト; M12×40 (8.8)	8					
	6	61737	ワッシャ; φ11×45×3.2	1					
	7	BZ1020WG	ボルト; M10×20 (8.8)	1					
	8	93011	サイドボード; L	1					
	9	93012	サイドボード; R	1					
	10	93013	ループボード	1					
	11	67426	ブラケット	2					
	12	BZ1020G	ボルト; M10×20 (8.8)	20					
	13	BZ1025G	ボルト; M10×25 (8.8)	2					
	14	NP10G	スプリングナット; M10	22					
	15	93014	リヤボード	1					
	16	BZ0816G	ボルト; M8×16 (8.8)	12					
	17	NP08G	スプリングナット; M8	12					

ADW1800

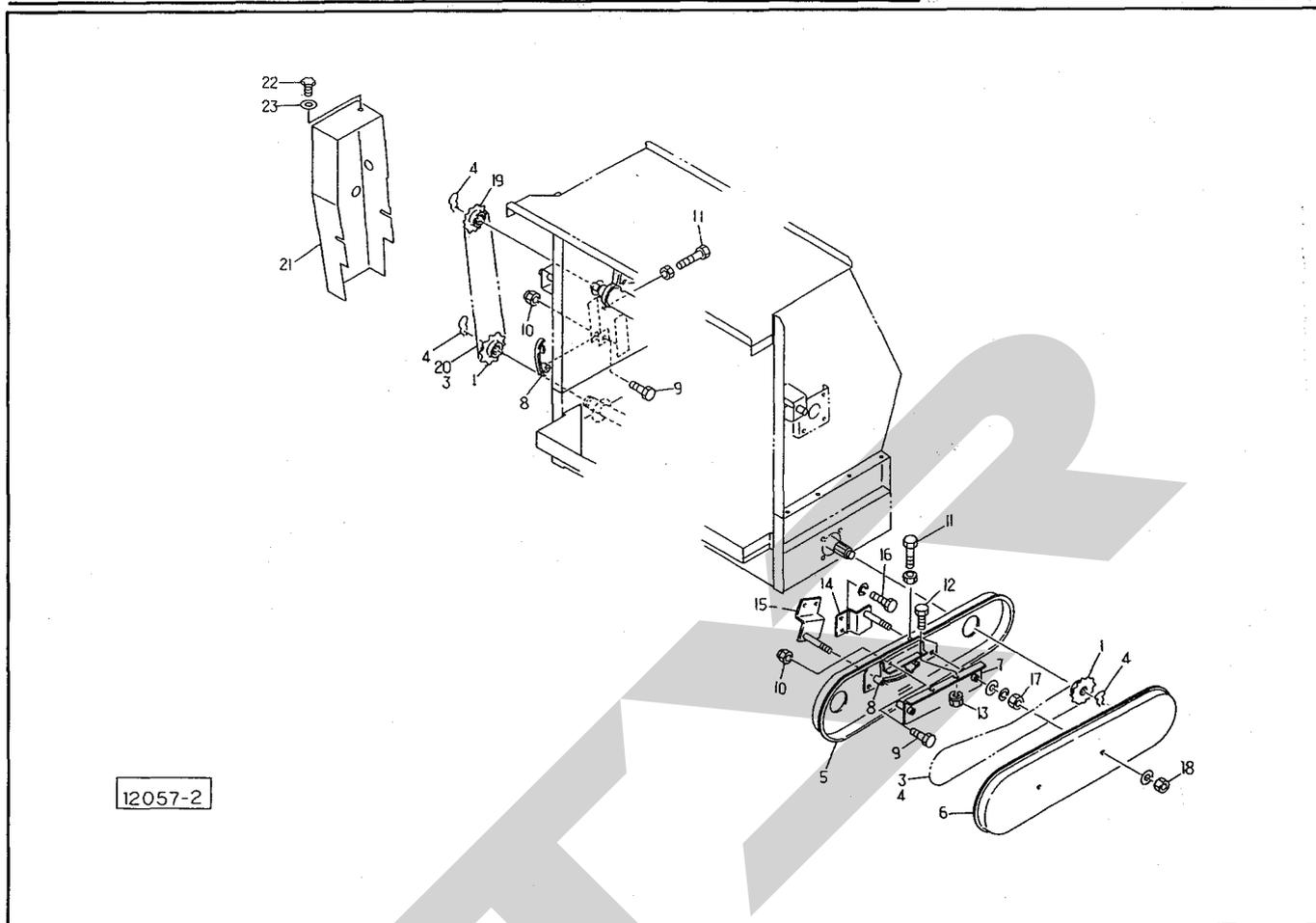
ディスク



見番 出号	部品番号	部品名称	個数	見番 出号	部品番号	部品名称	個数
2	93006	ゴムプレート	1	27	WF 16272	シールワッシャ; WF 16272	2
3	93007	プレート	1	28	30619	ワッシャ; 17×6	2
4	CP0830G	ナベコネジ; M 8×30	5	29	NN16G	ナイロンナット; M 16	2
5	NP08G	スプリングナット; M 8	5	30	92996	ディスク; L	1
6	92851	カバー	1	31	92999	ディスク; R	1
7	BZ1020PWG	ボルト; M 10×20 (8.8)	4	32	93047	ゴムプレート	2
8	59144	グロメット; 36	2	33	67737	ワッシャ	4
9	92859	シャフト	1	34	BM1030G	サラボルト; M 10×30	4
10	93000	シャフト	1	35	NP 10G	スプリングナット; M 10	6
11	JUCFC206D1	ベアリングユニット; UCFC206D 1	5	36	93022	ガード	1
12	73979	マイタギヤ; 18T	4	37	BZ1020G	ボルト; M 10×20 (8.8)	2
13	73980	マイタギヤ; 18T	1				
14	62283	キー; 8×7×30 (両丸)	1				
15	59986	シム; φ 30.5×0.1					
16	59987	シム; φ 30.5×0.2					
17	DC30	スナップリング; S 30	4				
18	DHC62	スナップリング; H 62	2				
19	93001	メタル	2				
20	BZ1035WG	ボルト; M10×35 (8.8)	8				
21	BZ1040AG	ボルト; M 10×40 (8.8)	12				
22	BZ1040WG	ボルト; M 10×40 (8.8)	8				
23	93002	シャフト	2				
24	J6206LLU	ベアリング; 6206 LLU	4				
25	D45629	オイルシール; D 45629	2				
26	ORG 40	Oリング; G 40	2				

ADW1800

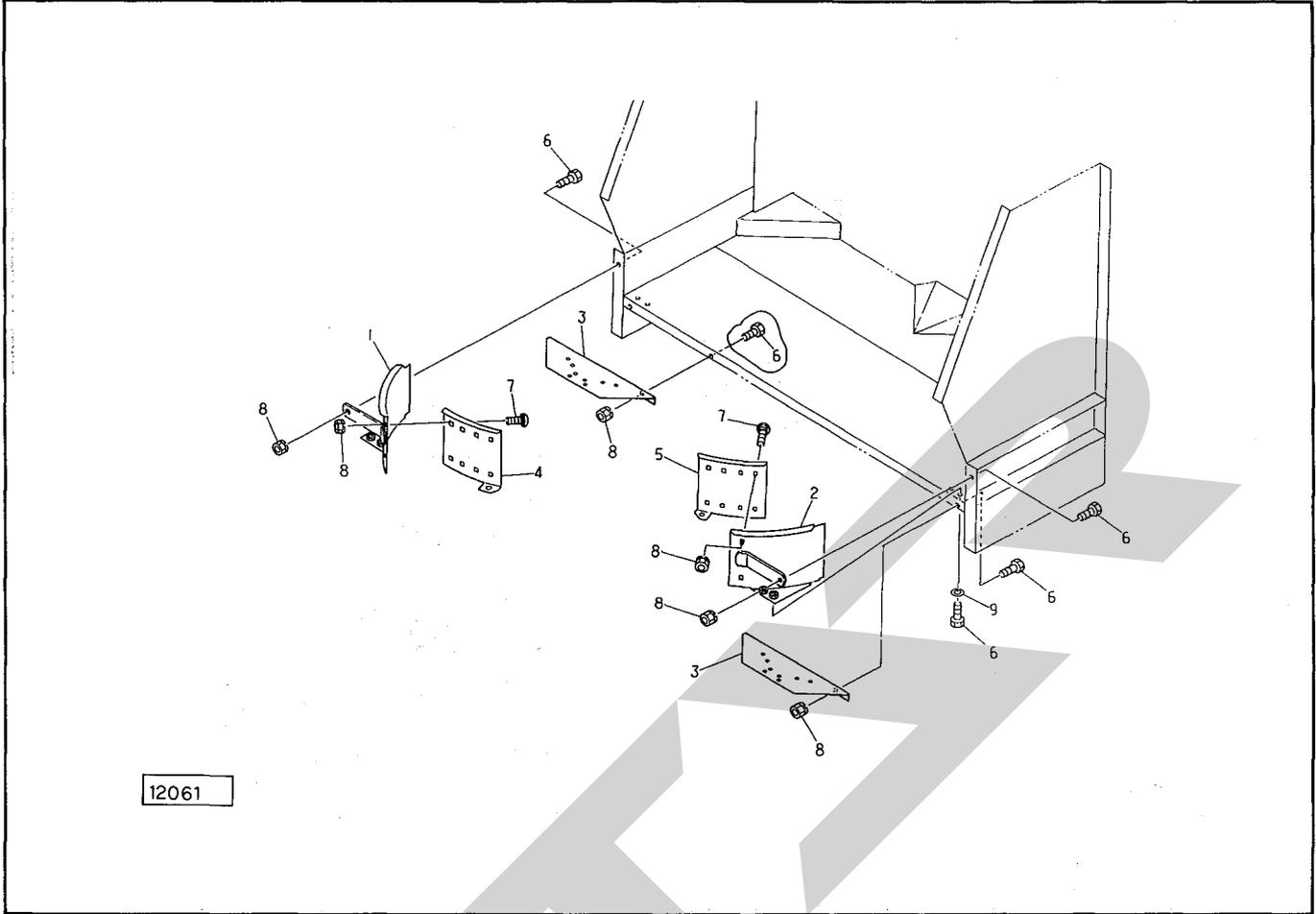
チェーンケース



品番	部品番号	部品名称	個数	品番	部品番号	部品名称	個数
1	77775	スプロケット; 60×15	2				
2	LA6066	ローラチェーン; 60×66	Ⓢ3付 1				
3	AA60	ツギテ; 60	2				
4	56984	クリップ	3				
5	92860	カバー	1				
6	60357	カバー; I	1				
7	92861	ブラケット	1				
8	60596	テンショナ	2				
9	BZ1060G	ボルト; M10×60 (8.8)	2				
10	NN10G	ナイロンナット; M10	2				
11	BZA12100NG	ボルト; M12×100 (全ネジ) (8.8)	2				
12	BZ0820G	ボルト; M8×20 (8.8)	2				
13	NP08G	スプリングナット; M8	2				
14	92931	ブラケット	1				
15	93017	ブラケット	1				
16	BZ1025WG	ボルト; M10×25 (8.8)	2				
17	NZ12PWG	ナット; M12(8)	2				
18	NZ12PG	ナット; M12(8)	2				
19	93015	スプロケット; 60×19	1				
20	LA6072	ローラチェーン; 60×72	Ⓢ3付 1				
21	93018	カバー	1				
22	00690	ニギリ; M8×14	3				
23	WRA08G	ワッシャ; M8	3				

ARW1810

規制板アタッチメント(オプション)



見 番	部品番号	部 品 名 称	個数	見 番	部品番号	部 品 名 称	個数
1	93307	ブラケット; L	1				
2	93308	ブラケット; R	1				
3	93309	アングル	2				
4	93311	ガード; L	1				
5	93312	ガード; R	1				
6	BZ1020G	ボルト; M10×20 (8.8)	12				
7	00450	カクネボルト; M10×20 (8.8)	4				
8	NP10G	スプリングナット; M10	12				
9	WSA10G	Sワッシャ; M10	4				

SFAA

調整

S-960202G

本社	066	千歳市上長都1061番地2 TEL 0123-26-1123 FAX 0123-26-2412
千歳営業所	066	千歳市上長都1061番地2 TEL 0123-22-5131 FAX 0123-26-2035
旭川営業所	070	旭川市神楽4条9丁目3番31号 TEL 0166-61-6131 FAX 0166-62-8985
豊富出張所	098-41	天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地 TEL 0162-82-1932 FAX 0162-82-1696
帯広営業所	080-24	帯広市西22条北1丁目12番地 TEL 0155-37-3080 FAX 0155-37-5187
北見出張所	090	北見市小泉302 TEL 0157-24-3880 FAX 0157-61-1344
中標津営業所	086-11	標津郡中標津町北町2丁目16番2 TEL 01537-2-2624 FAX 01537-3-2540
花巻営業所	025-03	岩手県花巻市二枚橋第三地割333-1 TEL 0198-26-5741 FAX 0198-26-5746
仙台営業所	985	宮城県多賀城市町前2丁目87番地 TEL 022-367-4573 FAX 022-367-4846
小山営業所	307-02	栃木県小山市梁2512-1 TEL 0285-49-1500 FAX 0285-49-1560
名古屋営業所	480-01	愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191 TEL 0587-93-6888 FAX 0587-93-5416
岡山営業所	700	岡山県岡山市下中野704-103 TEL 086-243-1147 FAX 086-243-1269
熊本営業所	862	熊本県熊本市長嶺町2255-429 TEL 096-381-7222 FAX 096-384-3525
都城営業所	885	宮崎県都城市都北町3537-1 TEL 0986-38-1045 FAX 0986-38-4644